

集落自主活動に係る伴走支援事業

田村市船引町瀬川地区 2023年度 活動報告

獨協大学セガワ応援隊

田村市船引町瀬川地区の概要と課題

概要

瀬川地区は田村市の北西部、旧船引町の北部に位置する。

面積は17.73Km²、標高400m前後の丘陵地で、東側には地域のシンボリックな存在の移ヶ岳(標高994.5m)がそびえる。丘陵地の大部分が森林で、低地の部分に田畑の耕作地が広がる。

瀬川地区の抱える問題

子育てしにくいいため、若い世代が少ない。

地域でのイベントや特産品がなく、外部の人を呼び込む要素が少ない。

仕事が少ないために若い世代が流出してしまう。

空き家、空き地が多い。

取り組むべきこと

地域住民が交流する場をつくり、多世代のコミュニティを形成する。

外部の人を呼び込むイベントや特産品を生み出し、収入を発生させる仕組みをつくる。

空き家や空き地、廃校などの利活用。



今年度の活動

主な活動	日付
オンラインミーティング	5月30日
オンラインミーティング	7月3日
オンラインミーティング	8月9日
オンラインミーティング	9月13日
大学での商品開発	9月15日
現地視察	9月19.20日
草加房沙良まつりでの商品の販売	10月22日
オンラインミーティング	11月9日
現地での新そば、軽トラマルシェへの参加	11月18.19日
Earth Week Dokkyoでの物産販売	12月4~8日

瀬川地区の農作物を使用した 商品開発

学生ならではの視点から、瀬川の農作物を使用した特産品を新しく作れないだろうかと思い、商品のレシピ開発に挑戦しました。

エゴマパウダー、エゴマ油、そば粉、小麦粉を提供していただきました。

制作した5つのレシピはミーティングにて共有し、活用方法など検討をしています。

そのうちの2つのレシピである、揚げそばのおつまみと、エゴマのシュケットは10月の草加房沙良まつり、11月の現地調査にて販売しました。



現地調査9月19、20日

1日目は廃校となった田村市立瀬川小学校を視察し、どのような利用方法ができるのか、校舎の中を調査しました。

校舎はすぐにでも活用ができるのではないかと思うほどきれいな状態でした。

瀬川地区の特産品の田畑を見学しました。珍しいタバコの農家さん、そば、エゴマ、日本ミツバチの養蜂場を見学しました。

2日目には開発したレシピの紹介を行いました。活用方法を検討しました。



房沙良まつりでのPR活動

10月22に行われた、草加房沙良まつりでは、草加市での瀬川地区のPR活動を目的として、開発した商品を販売しました。

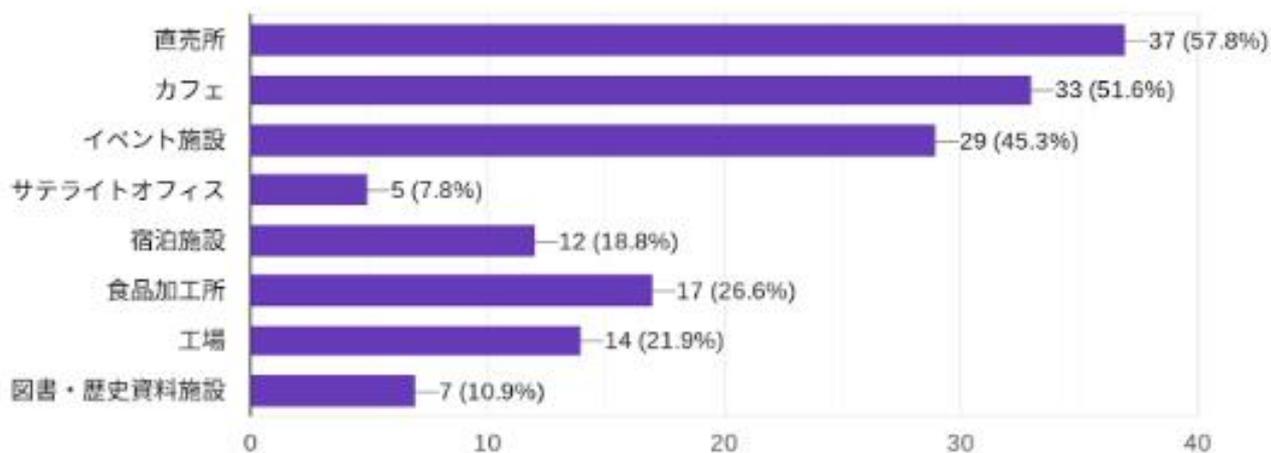


現地調査 11月18、19日

瀬川小学校の活用方法についてどのような形、方法が住民の皆さんに望まれているのか、アンケート調査をしました。

この地域に望む、必要と思われるもののお考えをお聞かせください。

64件の回答



新そば収穫祭、軽トラマルシエでは、エゴマのシュケット、揚げそばにおつまみを販売し、好評でした。



獨協大学環境週間“Earth Week Dokkyo 2023 ～Winter～”地域振興応援物産展

学内外での認知度を上げるために瀬川の商品を扱う物産展を行いました。

そば粉、ジャンボピーナッツ、日本ミツバチのはちみつ、自然薯里芋、ハヤトウリなどを販売しました。

商品の説明を交え、瀬川地区の魅力を発信することが出来ました。



今後に向けて

アンケート調査を行い、地域の皆さんのニーズがわかったので、小学校の利活用に向け、実際に小学校の校庭を使ったイベントなどの活動を行うことが来季の目標。

SNSを積極的に使い、引き続き、瀬川地区のアピールになる活動を行っていきたい。



まとめ



瀬川地区、やってみっ会の皆様にお力をお借りして、今年度の活動を行えたことに感謝しています。
少しでも地域に皆さんのお役に立てたのであれば、幸いです。